# 未来へ

紀の川市議会だより
2026. 11.1発行 NO.79

紀の川市議会の第３回定例会と活動をわかりやすくお伝えします。



翔べ！

●CONTENTS●

（特集）地域おこし協力隊・・・・・・・ P2
令和８年第３回定例会・・・・・・・・・ P4
一般質問（13名）・・・・・・・・・・・・P12
委員会活動報告・・・・・・・・・・・・・P20
追跡　あの質問、どうなったの？・・・・P21

# 大空から広がる紀の川の可能性

＃地域おこし協力隊　髙橋 佳吾さん　×　議会広報特別委員会



## 風と巡る雄大な紀の川

**―紀の川市を選ばれた経緯は？―**

東京・浅草出身の26歳髙橋佳吾です。学生時代に小説『深夜特急』に憧れてバックパッカーとしてインドやネパールなど海外を一人旅し、卒業後は全国47都道府県を巡る中でパラグライダーと出会い、鳥取で腕を磨いていました。

その後、以前「援農」で紀の川市を訪れたご縁から協力隊募集を知り、技術を伸ばしながら業界で挑戦できる好機だと直感。募集確認から30分で応募を決め、今年５月に着任しました。

**―活動内容や魅力は？―**

主な拠点は竹房河川敷の紀の川フライトパーク（ＵＰパラグライダースクール）です。標高約３００ｍの寺山テイクオフやランディング場の草刈り・維持管理、フライヤーや体験者の車送迎、機体展開のサポート、初心者への軽い指導などを行っています。

上空へ飛び立つと、紀の川から和泉山脈へ緩やかに広がる地形が立体的で、標高差以上の奥行きを感じます。晴天時には淡路島や四国まで見渡せ、南東には紀州富士と呼ばれる龍門山が美しくそびえ立ちます。高度を１，０００ｍ以上まで上げ、自然の風や雲の変化を読みながら飛ぶ繊細なロマンが一番の魅力です。



髙橋佳吾さん

## 地域の方々に支えられ

**―紀の川市に来て心掛けていることは？―**

地域の方々との関係作りでは変に自分を飾らないことを心掛けています。無理に関西弁やノリを真似るのではなく、素の自分のまま

フランクにお話しすることで、自然と温かく受け入れていただきました。拠点となるスクールの村井代表をはじめ、父親世代の先輩フライヤーの皆さん、以前の援農でお世話になった方々や大家さんなど、困ったときにすぐ相談できる「地域のお父さん」のような心強い存在がたくさんできたことが本当にありがたいです。

**ーどんなまちだと感じましたかー**

実際に暮らしてみて感じる魅力がまずは「フルーツ王国」ならではの色の豊かさです。夏場の桃はもちろん、ぶどうや柑橘、いちじくなど、上質でおいしい果物が常に身近にある幸せを日々実感しています。

そして「ちょうどいい田舎」である点です。海にも山にもすぐアクセスでき、車があれば市内での買い物や生活に一切不便は感じません。さらに岩出市や和歌山市、関西国際空港にも近いため、移動の自由度が高く、東京時代よりも快適に暮らせています。



**ー現在感じる課題や任期後の展望はー**

パラグライダーは国内の競技人口減少が進んでおり、翼一つで百万円を超えるなど機材が高額なため、若年層の参入ハードルが高い現状があります。活動費の中でやりくりしていますが、任期中の機材更新や普及の仕組みづくりが大きな課題です。

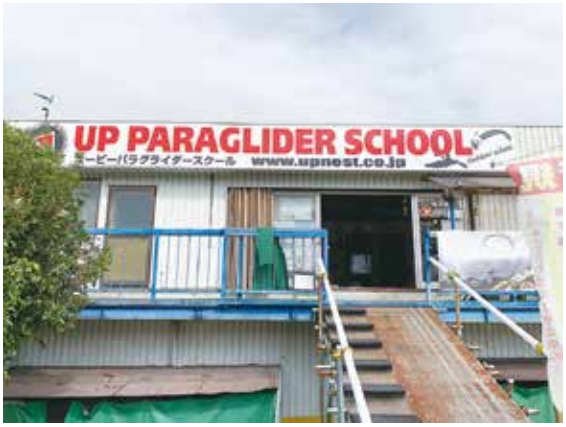
今後は上位資格（教員免許や上級タンデム）を取得し、子ども向け教室や、周辺のキャンプ・宿泊・マルシェなどと連携した体験事業を形にしたいと考えています。紀の川市をとても気に入っており、任期後も定住を前向きに見据えて活動を広げていきたいです。

## 「動けば道は開く」

**ー同年代の若者に向けて何かありますかー**

僕は海外を放浪したり各地でバイトをしたり、一見すると「フラフラ自分探しをして寄り道してきた」ような人生でした。でも、地道にいろんな場所に顔を出して人とのつながりを紡いできたからこそ、この完璧な仕事と巡り合い、「この仕事のために今までの経験があったのかな」と心から思えています。何事も無駄な行動なんて一つもありません。






地域おこし協力隊は、住まいや活動の受け皿・サポート体制がしっかり整っていて、地方に飛び込みやすい素晴らしい制度です。世間の「こうあるべき」にとらわれず、自分の感覚を信じてまずは一歩、行動を起こしてみてほしいですね。

飾らない爽やかな笑顔で丁寧に取材対応してくださった髙橋佳吾さんでした。

# ●第３回定例会●

## こんなことが決まりました

定例会　会期　34日間　8月28日～9月30日

定例会の議案は

**市長提出議案**
- 人事案件・・・・・・・・・・・・・・・18件
- 令和7年度決算の認定・・・・・・・・・10件
- 条例の制定・改正・・・・・・・・・・・3件
- 令和8年度補正予算・・・・・・・・・・8件
- その他・・・・・・・・・・・・・・・・1件

**議員提出議案**
- 意見書・・・・・・・・・・・・・・・・1件

**3件に注目！**

※議会だよりは、主な議案を抜粋して掲載しておりますので、その他の議案や結果につきましては、紀の川市議会ホームページをご覧になるか、議会事務局へお問い合わせください。

（議案第82号）令和8年度紀の川市一般会計補正予算（第3号）について

## 1 キッチンカーを配備

◎地域防災力強化事業（49万3千円）

避難所環境改善に向けた新たな取り組みとして、避難所へ温かい食事を提供できる体制構築のため、防災訓練時にキッチンカーの派遣を委託する事業です。

**こんな質問が出ました**

**Q** キッチンカー事業者に委託する仕組みは。

**A** 防災訓練の各会場200名の市民参加を想定し、1食当たり493円で、5か所1000名分を委託します。

**Q** 防災訓練の参加者は、キッチンカーの食事を食べてもらうが、自己負担は。

**A** 参加者からお金はいただきません。市の方も備蓄食料の提供を考えており、副食的な食事を予定しています。




イメージ図

（議案第82号）令和8年度紀の川市一般会計補正予算（第3号）について

## 2 消防団員の安全性の確保

◎消防団運営事業（51万7千円）
消防団員の消防力を強化するために、消防団員に研修や訓練の実施、装備品の充実、福利厚生を行う事業です。

**こんな質問が出ました**

**Q** 防火服や防火帽をどれだけ購入する予算なのか。

**A** 火災現場で消防団員を守り、安全性を確保するための防火服や防火帽（ヘルメット付き）の老朽化に対応した更新のため、防火服や防火帽を、10セット購入します。




（議案第89号）令和8年度紀の川市一般会計補正予算（第4号）について

## 3 物価高騰のため入札が成立せず

◎田中小学校改築工事（3期工事）
（債務負担行為補正12億3290万円）
田中小学校の3期工事の入札が成立しなかったため、※債務負担行為の限度額を2億3870万円引き上げ、条件や発注内容を見直し再度入札を行います。
※債務負担行為・・・年度をまたいで支払う契約をあらかじめ予算で定めておくこと

**こんな質問が出ました**

**Q** 条件や発注の内容はどのように見直すのか。

**A** 県外事業者も参加可能にします。また、解体と建築を一括発注していましたが分離発注にし、完成時期を遅らすことなく進めます。

**Q** 設計の見直しは考えないのか。

**A** 設計の変更には時間が必要です。保護者、推進委員の意見を尊重し、また児童・教員の負担軽減を考え工期を優先するため、設計の変更は行いません。



# 令和7年度決算を審査しました

総務文教、厚生、産業建設常任委員会をそれぞれ分科会とし、所管する事項について詳しく審議を行いました。一般会計については、予算決算常任委員会で決算小委員会を設置し、3日間にわたり審査を行いました。

## 令和7年度決算

認定

### 一般会計

| | |
|---|---|
| 予算現額 | 383億5,520万7,000円 |
| 歳入決算額 | 368億6,478万5,762円<br>（収入率96.1%） |
| 歳出決算額 | 351億5,087万　109円<br>（執行率91.6%） |
| 翌年度（8年度）繰越額 | 18億9,336万　684円 |

### 特別会計（6会計）

| | |
|---|---|
| 歳入決算額 | 171億6,283万2,405円 |
| 歳出決算額 | 169億3,531万8,559円 |

| 公営企業会計 | | 水道事業会計 | 工業用水道事業会計 | 下水道事業会計 |
|---|---|---|---|---|
| 収益的 | 収入 | 15億8,208万5,614円 | 4,749万6,002円 | 8億6,652万　231円 |
| | 支出 | 14億　537万8,752円 | 3,247万7,441円 | 7億8,803万　238円 |
| 資本的 | 収入 | 4億5,232万7,008円 | 0円 | 14億　99万7,352円 |
| | 支出 | 10億5,373万5,859円 | 1,264万4,289円 | 17億1,373万1,719円 |

## Pick up 1

## 統一した民間事業者で保護者負担軽減

**◎放課後児童健全育成事業（2億137万3千円）**

**昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成をはかるため、学童保育10施設を令和7年度より、ひとつの民間事業者に一括で委託をしました。**

**こんな質問が出ました**

**Q** 決算額が約2千379万円、13.4%増額の要因は。

**A** 運営費用は約605万円減少していますが、学童保育事業を共立ソリューションズに委託したことにより、本部管理費として約2千580万円が必要となったことが主な要因です。

**Q** 施設によって、利用者の定員と国の基準に開きがあるが。

**A** 一人につき約1.65㎡以上の面積を確保することになっています。1施設30名以下と制限がありますが、概ね国基準を超えないようにしています。



Pick up 2

## 幼児期からの英語教育の成果は？

**◎保育所運営管理事業（内４１８万円）**
**保育所を運営するため、施設・人員・保育内容・安全管理・財務などにかかった費用です。なかでも、幼児期からの英語教育は、令和７年度から実施している独自事業です。**

**こんな質問が出ました**

**Q** 委託料に見合った効果は。

**A** 園児へのテストやアンケートを実施することは難しいため、所長へのアンケートを実施し、６点満点中４．55という良い評価でした。

**Q** 今後も継続する予定か。

**A** 成果についての効果測定は非常に難しいと考えますが、幼少期に英語を学び、ネイティブの音を聞きとることで、高周波を聴き分ける英語耳が育つと言われ、外国への抵抗感が減ることから、良い効果が得られると考えているため、可能な限り、継続実施したいと思います。



Pick up 3

## ごみ収集に伺っています！

**◎ごみ収集事業（内68万円）**
**ごみ出しが困難な高齢者（要介護者）や障害者を対象に、玄関先まで戸別収集する「ふれあい収集」。職員による声掛け・安否確認も行いました。**

**こんな質問が出ました**

**Q** 令和７年度の利用者件数は36件。制度を知らない世帯や申請できていない世帯もあるのでは。

**A** 区長会や介護支援事業者などに説明を行っています。また、ごみ収集カレンダーにも掲載しています。

**Q** 今後、利用世帯が増加した場合、現在の体制で十分対応できるのか。

**A** この体制で利用者件数１００件まで対応可能と考えています。それを超える場合は、班を増やすなど対応を考えていきます。



Pick up 4

## 農業関連企業の誘致へ

**◎新事業用団地造成事業（1億2207万2千円）**
**曽山地区の造成事業について、紀の川インターチェンジ周辺整備の一つの事業として計画し、市内事業者との連携による地域ビジネスの創出に向けた支援を進めています。**

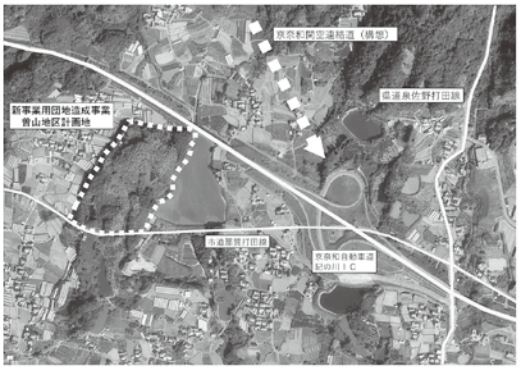
**こんな質問が出ました**

**Q** 用地買収が解決する目標年度と造成工事の完成年度は。また、企業進出の目途は。

**A** 用地取得は令和8年度まで。造成工事は令和12年度末までの計画です。企業誘致については白紙の状態です。

**Q** 総事業費の見込みは。また、売却価格は。

**A** 総事業費は26億5千万円になる見込みです。販売価格については、近隣自治体の工業団地の価格を考慮し、検討します。



曽山地区造成事業の概要

Pick up 5

## 紀の川はっさくの商品開発

**◎紀の川はっさくプロジェクト推進事業（内147万2千円）**
**UHA味覚糖株式会社と共同開発し、熱中症予防効果のあるはっさく由来成分「オーラプテン」を使用した熱中症対策「暑払飴」の製造販売を各イベントやコンビニなどで実施しました。**

**こんな質問が出ました**

**Q** 「暑払飴」での紀の川はっさくやオーラプテンについて、各イベントや販売ではどの程度のPRが出来たのか。

**A** イベント配布は、大阪関西万博では3000個、県市のイベントは4300個、市内企業各種団体へは2300個、はっさくシンポジウム・食品開発展などは、3000個、コンビニなどでは1400個であり、合計約14000個となった。このような事から、UHA味覚糖株式会社とのコラボにより全国的な商品の広がりが実感できた。



Pick up 6

## 不良空き家の除去すすむ

**◎空家等対策事業の不良空家等除去補助金（778万2千円）**
**不良と判定された空き家の除去に要する費用の4／5、上限100万円を補助しました。**

こんな質問が出ました

**Q** 令和7年度の事業内容は。

**A** 相談件数が22件で15件の認定調査を行い、そのうち12件を補助対象として認定しました。除去に至ったのは9件です。

**Q** 特定空き家の除去件数は、また認定数は。

**A** 特別措置法に基づいて認定している特定空き家については0件でした。認定数は令和7年度末で3件です。



Pick up 7

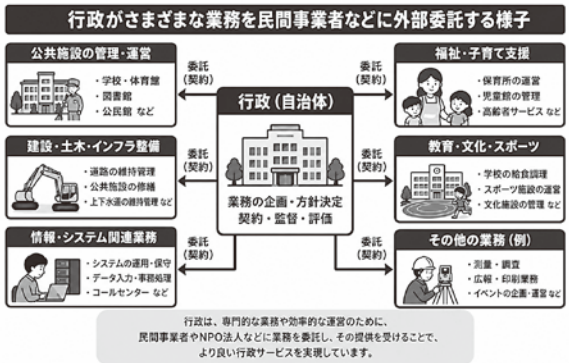
## 委託料もアップ

**◎総委託料 令和7年度（43億8500万円）**
**市のさまざまな業務を外部委託しています。物価高騰のなか、委託料も財政に影響が出てきます。**

こんな質問が出ました

**Q** 令和7年度と令和6年度の委託料の比較は。

**A** 令和7年度の委託料決算額は約43億8500万円、令和6年度は42億800万円で比較すると、約1億7700万円の増加です。
令和6年度だけの委託や令和7年度からのものもあるので、それらを控除すると、令和7年度委託料は31億2900万円、令和6年度は29億4100万円で、比較すると約1億8800万円の増加です。




イメージ図

# 東京事務所について

Pick up 8

## 総務文教常任委員会（9月7日）・決算小委員会（9月8日・11日）

6月17日に行った所管事務調査に引き続き、調査を行い、決算審査を行いました。
※75自治体を対象とし、アンケート調査を実施し、56自治体（74.7%）から回答を得ました。56自治体のうち、人口6万人以下の7自治体が、類似団体です。

### 調査結果

**■住居家賃**
紀の川市：3軒分の平均 約18万3千円　職員負担なし
他自治体（類似団体）：平均 11万9千円（約8万円～約24万5千円）　職員負担あり（71.4%）

**■通勤時間**
紀の川市：30分以内
他自治体：30～60分（83.9%）

**■活動補助金**
紀の川市：2千円（国や企業との人脈形成、研修参加、情報収集のための機動力を発揮するため、出勤１日当たり２千円を定額補助する）　※要綱を改正し、9月末で清算。翌3月末で返金。10月～3月については、内容を確認したうえで支出に変更。
他自治体：無し（78.6%）

**■旅費**
紀の川市：3千円（公用車がなく、電車など交通機関を頻繁に利用する職場環境を考慮し、1日あたり定額３千円を支給する）
他自治体：交通系ICカード導入、実費精算（92.9%）

**■地域手当（異動保障）**
紀の川市：1年目100%、2年目80%、3年目60%を支給（国に準拠した制度に基づき、令和8年度から東京事務所に勤務する職員に限り、帰任した場合支給する）
他自治体：制度無し（96.4%）

**Q. 紀の川市はどの制度においても全国トップレベルの扱いをされているようにとれるが、どこを参考に素案を作ったのか？**
**A.** 補助金に関しては、参考にしたところはない。旅費については、紀の川市独自の条例・規則に基づき運用をと考えている。地域手当の異動保障については、近隣自治体を参考にした。

**Q. 今回の他自治体のアンケート結果をみて、今後、本市ではどうするのか？**
**A.** 家賃については、令和９年度の予算編成に向け検討しなければいけない。活動の補助金については、改善した。地域手当の異動保障については、継続したい。

**Q. 具体的な成果は？**
**A.** 地域経済循環創造事業交付金（ローカル10000プロジェクト）に対し、3220万円の補助金を、地域公共交通確保維持改善事業の補助金として、3008万6千円を、また、地域観光新発見事業の補助金に500万円を獲得している。また、大相撲の開催誘致、ドローン関連事業の相談、京奈和関空連絡道の整備促進に向けた関係省庁の連絡調整や陳情のバックアップ準備活動などを行った。

**Q. 住居、活動補助金や旅費などについて、今後どうする？**
**A.** 住居については、立地条件や職員の安全を確保しつつ安価な物件を探したい。そのほかは、令和9年度の当初予算編成に向けて、厳正に対処していきたい。その整理の仕方や答えを準備ができ次第、委員会に説明する。

令和７年度

## 一般会計決算に対する討論



反対の主な理由

令和６年度決算でも不認定とした東京事務所運営事業の旅費・補助金の支出に問題があったこと、補正予算を一度は否決した次長級の役職設置を市長・副市長・人事部局のみで決めたこと、またその採用方法について独断専行の人事が許される組織なのは残念である。

さらに、後年度の実質的負担が数億円単位で増えてきていることは懸念点である。

交付税算入のない起債をしてまで、どうしても進めなければならない事業なのか、内容や規模が華美なものになっていないか精査していただき、不足額が出ることが常態化することは避ける財政運営を求める。

令和８年度

## 一般会計補正予算（第４号）に対する討論



反対の主な理由

令和５年に設計した時と今では、気候環境が大きく違う。小学校のプール使用は、気温＋水温が５０度を超えるときや雨のとき、夏休みにもなく、１回～７回ほどになっている。

さらに、令和８年度から、教員採用試験で水泳の実技試験は行っていない。全国的にもプール授業の転換期となっている今、プールの建設が本当に今後の子どもたちのためになるのか。

市内全小学校のことも考え、子どもたちのプール授業の充実をはかるべきではないか。民間スイミングスクールに行けば、専門コーチがいて、屋内のため、年間通して授業が受けられる。プールは、建設費と共にその後の維持費もかかる。よって２億９０００万円のプール建設を含む本議案には反対。

### 議案に対する議員の賛否一覧（全41議案中賛否が分かれたものを掲載しています）

| 案件名 | 結果 | 上岡 一夫 (わ) | 西岡 宣博 (わ) | 高橋 千代子 (公) | おん地 ゆう子 (実) | 上田 礼子 (わ) | 松本 敦 (わ) | 芝田 修 (公) | 大田 裕之 (わ) | 木村 芳友 (わ) | 石井 仁 (共) | 船木 孝明 (わ) | 大谷 さつき (公) | 中村 まき (共) | 森田 幾久 (清) | 阪中 晃 (実) | 榎本 喜之 (わ) | 村垣 正造 (清) | 堂脇 光弘 (清) | 上野 宗彦 (清) | 杉原 勲 (わ) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 議案第68号　令和7年度紀の川市一般会計歳入歳出決算の認定について | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◯ | － |
| 議案第70号　令和7年度紀の川市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定について | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － |
| 議案第89号　令和8年度紀の川市一般会計補正予算（第4号）について | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | － |

【○ … 賛成　× … 反対　－ … 議長　欠 … 欠席　退 … 退席】

※議長は採決に加わることはできません。ただし、賛否同数の場合は、議案の可決・否決を決めることができる「裁決権」があります。

※（わ）…わかばクラブ　（清）…清流会　（公）…公明党　（共）…日本共産党　（実）…実り会



# いっぱん質問



一般質問とは、議員が市民の代表として、市の行政全般に対し、事業の執行状況や政策方針などについて質問することで、政策の見直しや提言なども行います。

1. 木村　芳友　議員（わかばクラブ）
◎世界に誇る医聖・華岡青洲の顕彰活動と今後の位置づけを問う

2. 森田　幾久　議員（清流会）
◎雑草が伸びっぱなしにならない市をめざして

3. 芝田　修　議員（公明党）
◎生活排水処理の今度の計画は

4. 中村　まき　議員（日本共産党）
◎必要な子育て支援とは
〇デマンド型乗合交通をもっと使いやすく

5. 大田　裕之　議員（わかばクラブ）
◎フルーツ王国紀の川市の産地振興について

6. おん地　ゆう子　議員（実り会）
〇公民館・コミセンをもっと利用しやすく、オープンに！世代を問わず交流の場になるような工夫を
〇体育館の冷房を部活動時も使用できるよう、熱中症対策を徹底しては
〇縁結び課の設置にむけて
◎自他を大切にする心育む包括的性教育をすすめよう

7. 大谷　さつき　議員（公明党）
〇生活習慣病重症化予防事業の更なる拡充にむけて
◎災害時における避難所の環境改善を

8. 阪中　晃　議員（実り会）
◎小中学校における夏季休暇の在り方
〇弁護士や臨床心理士等による学校支援体制の在り方

9. 上岡　一夫　議員（わかばクラブ）
◎近年の気象変化による干ばつ対策は

10. 舩木　孝明　議員（わかばクラブ）
◎過疎・中山間地域対策の現状と地域おこし協力隊の成果と展望

11. 上田　礼子　議員（わかばクラブ）
◎気候変動に対応する本市の熱中症対策

12. 松本　敦　議員（わかばクラブ）
◎「身寄りのない高齢者」への支援について

13. 石井　仁　議員（日本共産党）
◎最大震度７を想定した備えを（復興編）

※　◎の質問の概要を掲載しています。

一般質問の内容については、要旨のみ掲載していますが、二次元コードから録画配信がご覧いただけます。なお、原稿については、各質問者が投稿したものであり文責は質問者にあります。
くわしい内容を知りたい方は、会議録の閲覧ができますので議会事務局議事調査課までお問い合わせください。
（TEL　0736-77-2511）

## 世界にほこる医聖・華岡青洲を紀の川市の未来へ



木村　芳友

**Q** 華岡青洲の顕彰活動をどのようにおこなっているか。

**A** 顕彰会が行っていた資料の収集・保存、フラワーヒルミュージアムの展示資料の管理、調査研究事業や講演会など、長年にわたり築いてこられた活動の成果と理念を継承しながら、華岡青洲の功績を後世に伝える取り組みに努めるとともに、今後についても継続していく。

**Q** 青洲の里との連携について、今後もさらに強化していく考えは。

**A** これまでも青洲の里と連携しながら顕彰事業や学習機会の提供に取り組んできたが、華岡青洲の功績をより効果的に発信し、次世代へ継承していくためには、引き続き相互の連携が重要であると認識している。今後においてもそれぞれの役割を尊重しながら一層の連携に努める。

**Q** 華岡青洲に特化した専門的な知識を持った学芸員を配置しては。

**A** 学芸員の配置については、華岡青洲に関する事業だけではなく、市全体の文化財行政や博物館機能のあり方、人材確保の状況なども踏まえて検討する必要があるものと考えている。このため、現時点では具体的な配置計画はないが、今後の顕彰事業のあり方や文化財行政の推進体制を踏まえながら、市全体の組織・人員体制の中で検討していきたい。



## 池の堤の草刈りも一緒に！



森田　幾久

**Q** 近年の異常気象により、夏場は猛暑が続き、暖冬でもあることから、市道などあらゆる公共施設でも一年中雑草が伸びるような気候となっている。そのような環境のもと、各自治区で市道、農道、ため池の草刈りなどの協力をいただいているが、高齢化が進むなか、中山間地域を中心に人材不足が続いている。草刈りの現状は。

**A** ため池については、水利組合や地元農家の受益者の方々が多く、共同作業や持ち回りで管理を行っている。雑草等刈取委託として、各部局で市道、農道、体育施設、用途廃止後の普通財産、工業団地、小中学校、保育所、公園など、令和7年度に植木管理も含め、約1億2234万円発注している。また、費用は発生しないが、地元自治区で管理されている公園や、保護者と職員の協力で行っている小学校や保育所がある。

**Q** 先進地事例として、長野県飯田市や岡山県真庭市のように、それぞれ発注している雑草等刈取委託を一本化し、ため池は地域を災害から守る砂防堰堤（えんてい）的に位置づけ、紀の川市をマス目に割って、地域別に年間の合同管理をする地域維持型包括管理制度を創設しては。

**A** 先進地事例を研究しながら、今回の提案が本市として合うのかどうかを研究していく。そして、「紀の川市へ入ったら、雑草が生えていない」と言われるようにしたい。



草刈りの様子

## 生活排水処理の今後の計画は



芝田　修

**Q**　下水道事業経営戦略の現状は。また、今後の見直しは。

**A**　公共下水道の整備状況は、令和7年度末までの整備面積は約316haで、全体計画面積約938haに対しての整備率は約33%となる。また、供用開始区域の件数が4010件、それに対する接続済み件数が2990件で接続率は74.6%となっている。

　下水道事業経営戦略の見直しについては、今後の人口減少や社会情勢の変化を勘案し、令和9年度に、市の事業計画に即した見直しを予定している。

**Q**　下水道法一部改正により集合処理方式から個別処理方式へと国の方針が転換された。合併処理浄化槽設置補助金制度を拡充しては。

**A**　将来的な拡充については、今後の公共下水道事業認可区域の内容や国・県の補助制度の近隣自治体の動向を見ながら検討する。本市の汚水処理人口普及率は令和7年度末で83.2%となり、合併当初より54.5ポイント上昇し、和歌山県の目標値80%を超えていることから、一定の目的を達成したと認識している。今後の生活排水処理については、人口減少や地域の実情に応じた、効率的かつ効果的な汚水処理施設の整備を推進する。

**Q**　第3次長期総合計画において生活排水処理計画の反映は。

**A**　汚水処理システムの質の向上と持続性確保に重点を移すべき時期であり、持続可能で衛生的な生活環境の実現に向け対策に取り組む。



下水処理場のシールド掘進機

## 呼び込むだけでなく　子育て環境の整備を



中村　まき

**Q**　子育て支援策の課題とは。

**A**　児童虐待件数や支援が必要な子どもが増えている。職員1人が担当する要保護・要支援児童が全国の約4倍、県平均の約3倍の80人となっている。

　支援体制の強化が必要な状況のなか、専門職の確保が最大の課題である。また保育所の受け入れ余力が少なくなってきていることや、学童保育では希望者全員を受け入れできない施設が出る可能性があることも課題となっている。

**Q**　紀の川市公立保育所第2次再編計画の進捗は。

**A**　用地の問題や児童数の推移などいくつかの要因で、令和7年3月に一部を見直し、更新している。しかし、用地などの問題や物価高騰に伴う建築費の急激な上昇など、自治体経営上、総合的な判断を要する状況となっており、今一度見直しを含めた検討が必要となっている。

**Q**　「子育てするなら紀の川市」と謳（うた）っているにもかかわらず、子どもの命を守るための人員不足や、安心して預けられる環境が整っていないという課題にどう対応していくのか。

**A**　ひとつひとつの事業を切り取ると至らないところもあると思う。そういう部分については大変ご不便をおかけしているかもしれないが、今後少しずつでも解消していけるように努めていく。



## 持続可能なフルーツ王国 紀の川市へ



大田　裕之

**Q** 今年の桃の生産量が大幅に減少した要因について、市はどのように分析しているのか。

また、解決策として、今後市はどのような取り組みを行っていくのか。

**A** 生産量減少の直接的な要因としては、気候変動による影響が大きく、近年の猛暑や暖冬により、生育や着果は不安定となるほか、カメムシ類をはじめとする病害虫の発生、生産者の高齢化や後継者不足による栽培面積の減少が生産量減少の要因となっている。

市としては、JAわかやま紀の里地域本部や県など関係機関と連携しながら、生産者への支援、担い手育成、さらには桃のブランド力や販売力の向上に取り組み、市を代表する「あら川の桃」をはじめとする桃産地を将来にわたって維持・発展させていきたいと考えている。

**Q** 「フルーツ王国紀の川市」を将来にわたり維持・発展させていくために、どのような将来像を描き、どのような産地振興を進めていく考えなのか、市長の見解は。

**A** ブランドを将来にわたり維持・発展させるためには、担い手の確保・育成や生産基盤の強化、気候変動への対応に加え販路拡大など、総合的な取り組みが重要である。

安心して農業を続けられる環境づくりと、本市農産物のさらなる魅力発信に取り組んでいく。




## 自他を大切にする心育む 包括的性教育をすすめよう



おん地ゆう子

**Q** いまや小学生の半数以上、中学3年生では9割以上がスマホを持つ時代で、性に関する情報も簡単に入手できる。その中には、偏りや誤った情報もあり、子どもたちにその見極めは難しい。子どもが性犯罪被害者となる不同意性交等罪の認知件数は増加傾向で、2018年に比べ、0歳から12歳で、1.4倍以上になっている現状である。

そこで、本市でも※包括的性教育に取り組む考えは。

**A** 今年度、県の教育委員会から重点的に取り組む9つの人権課題の中に、性に関する人権もある。本市でも、他の人権課題の解決とともに、包括的性教育にも取り組んでいきたい。

※包括的性教育…2009年ユネスコやWHO（世界保健機関）が提唱した世界標準の性教育で、性交・避妊・ジェンダー・人権・多様性・性暴力防止・コミュニケーション能力などを通して、子どもを守り、安心して成長させるための教育。

**Q** 自分を自分で守ること、相手の気持ちを確認、尊重すること、自他ともに大事にできることは大切だと考える。性被害者にも加害者にもならないために、本市でも取り入れるべきだと思うが。



和歌山市宮小での助産師の授業

## 災害関連死を防ぎ ニーズに応じた支援を



大谷　さつき

**Q** 「令和8年熊本地震」により多くの方が避難生活を余儀なくされている。身を寄せる避難所の環境改善も急がれる。

本市において、災害の教訓を踏まえ、避難所への迅速な環境改善としてTKB（トイレ・キッチン・ベッド）の進捗状況は。

**A** トイレに関しては、備蓄している紙おむつ大人用と子ども用あわせて890枚の更新を予定している。トイレカーの導入は、近隣の市町村の導入実績なども考慮し、検討を進めている。

キッチンに関しては、温かい食事の提供ができる、キッチンカー事業者と連携をはかり対話を進め、災害協定の締結をめざしている。

ベッドは、東海・東南海・南海の3連動地震の避難者想定約4500人の約半数を目標に、備蓄物資整備5カ年計画分を国の交付金を前倒しで活用し、今年度約2000台を導入する。

**Q** エアベッドを増やす予定は。

**A** 備蓄スペースの確保などの課題もあり、次の計画見直しの開始年度の令和13年度以降の際、総合的に検討を進め備蓄の充実に取り組んでいく。

**Q** 簡易テントの導入の進捗状況は。

**A** 設置の素早さやプライバシー保護の観点からも有効性は認識しているが、現在、段ボールパーテーションを約4500組備蓄している。保管場所の確保などの課題もあるが導入に向けた検討を進めていく。




みどり市が導入したトイレカー

## 小学校の夏休みを短くしては



阪中　晃

**Q** 和歌山市、岩出市の小学校の夏休みは8月25、26日が始業式だったが、本市の小学校は暦の都合で今年31日だった。海南市は平成28年より8月21日が始業式で突出している。ちなみに、和歌山大学教育学部附属小学校は25日、智辯学園和歌山小学校は2～3週間の夏休みで、通常月1回以外は土曜日も授業である。今年の全国学力テストのアンケート結果では、21.7％の子どもが4時間以上、37.3％が3時間以上携帯でSNSや動画を見ていると、文部科学省が発表した。この数字を見ても子どもたちの実態が分かって頂けると思う。

自己管理できない子どもたちが夏休みに家でどのような生活をしているのか、家庭をはじめ子どもたちの生活実態を把握し、先生や保護者と話し合う機会を持ち、市に合った夏休みを前向きに考え、夏休みを短くすべきと思うが。

**A** 長期休業は、子どもや家庭の判断で自由に過ごし方を選択でき、日常とは異なる環境の中で多様な学びや体験に触れる貴重な機会ととらえている。特に、時間割のないなかで子どもたちがどう過ごすかなど、家庭で話し合い、親子で共に学ぶ時間や地域の中で活動することで、家庭教育を充実させることができる機会と考えており、夏休みを短縮するという考えはない。



## 農業用水の常設を



上岡　一夫

**Q** 日本を代表するフルーツ農産物大国紀の川市を守り継ぎ、次世代未来への食料の安定確保が責務と思うが、近年の干ばつは異常であり、その対策はどのような考え方で取り組んできたのか。

**A** 少雨高温の対策として、農林水産省の高温に伴う農作物などの被害防止に向けた技術指導の徹底についてなどを参考に※揚水施設を増やしている。

**Q** 渇水対策本部の立ち上げの基準や費用面、また、気温降水量管理はどのように取り組んでいるのか。

**A** 梅雨明け最後の降雨から約2週間をめどに、JAと気象台の資料を参考にし、設置に向けた行動を起こし費用はJAと折半している。

**Q** 約2週間後の検討では、最高気温が更新する夏場の時期であるからこそ遅いと考える。5日～10日後位の※潅水（かんすい）が必要と考えるが。

**A** 揚水機設置に向けた諸条件の対応も必要であり、ご理解願いたい。

**Q** 揚水場の昨年と本年の設置箇所数とポンプ馬力のアップや常設の考えは。また、潅水も含む農薬散布用水としての井戸ポンプ揚水機の農業用水としての考え方は。

**A** 昨年は14箇所で本年は15箇所。馬力のアップや農業用水の揚水機常設は今後必要と考え検討する。

**Q** 近年の干ばつは災害級であり、農家の諸経費も異常な程、物価高騰経費増大である。干ばつ用燃料代金全額補助金制度導入の考えは。

**A** 全額補助は現時点では難しい。

※揚水…水を汲み上げること
※潅水…水やりのこと



## 農業の持続的発展の取り組みは



舩木　孝明

**Q** 地域おこし協力隊の活動実績と国の財政支援は。

**A** これまで18名の隊員を受け入れ、観光振興や地場産業の農業を通じた地域づくりなど精力的に取り組んでいる。また人件費と活動経費などは国の特別交付税で支援されており、定住するための空き家の改修経費も国の特別交付税の対応である。

**Q** 活動期間は3年だが延長は。

**A** 原則は3年となっているが任期終了後、地域で起業するなどの場合、特例措置して5年間まで延長が可能である。

**Q** 活動期間終了後の本市への定住実績の状況は。

**A** 18名の隊員のうち、任期中も含め9名が市内で定住してマルシェやカフェ、観光振興、福祉事業、家具作りの経験を活かした家具工房の起業に向けて準備されている。

**Q** 有害鳥獣対策と地域おこし協力隊の連携は。

**A** 狩猟免許や安全面での課題がある。準備期間が必要で今後検討していく。

**Q** 今後、JAわかやまあら川の桃部会トレーニングファームと地域おこし協力隊との取り組みは。

**A** あら川の桃部会と地域おこし協力隊の活動内容も含めて役割分担を明確化し、支える体制を検討していく。



## 気候変動に対応する熱中症対策



上田　礼子

**Q** 近年の異常な酷暑は市民の命を脅かす深刻な自然災害である。市内中学校の体育館には、避難所用エアコンがいち早く整備されたが、防災目的を理由に平時の部活動などで活用されていない。目の前にある設備を使えず熱中症の危険に晒す現状は極めてもったいない。

国の地方交付税措置やICTを活用した運用スキームを構築し、教職員に負担をかけず、平時・有事ともに命を守る拠点として有効活用すべきだ。

災害時の車中泊避難者対策や、小中学校体育館の空調を危機管理シェルターと位置づけ、平時・有事の複合的な活用について、前例にとらわれない指定避難所の環境改善と公有資産の有効活用について、抜本的な方針と見解を問う。

**A** 避難所の生活環境確保のため、中学校体育館への空調整備を完了し、今年度からは小学校体育館への設置に向けて取り組んでいる。昨今の異常な酷暑から熱中症対策の重要性は認識しているが、学校敷地内の安全や教職員の負担など課題もある。まずは暑さ指数や室温の把握と管理、要配慮者の見守りなど、訓練やマニュアルの見直しを通じて、避難所の環境改善を含め、実効性のある対策に取り組んでいく。




## 「身寄りのない高齢者」への支援施策（今後の方向性）



松本　敦

**Q** 今年4月に社会福祉法などが改定され、今後の高齢者福祉で重要な改正が行われ、「身寄りのない高齢者」への支援について大きな動きがあった。今後、本市の65歳以上人口は減少に転じていくことが予測されているが、「高齢者の夫婦のみ世帯」や「高齢者単身世帯」はどのように推移していくのか。

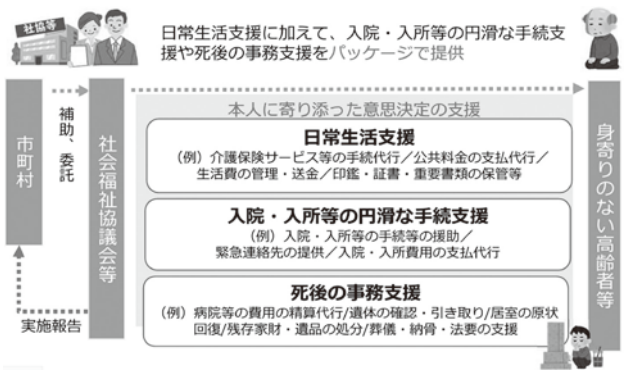
**A** 65歳以上人口は減少に転じていくと予想されるなか、高齢者の夫婦のみ世帯と高齢者単身世帯は、核家族化の進行や配偶者との死別などで増加すると推測される。

**Q** このような現状と将来予測の中で、民間企業による「身元保証サポート」や「終身サポート」といった事業展開は把握しているか。また、市役所や社協による同様のサポートの実施状況は。

**A** 民間企業によるサービス提供は把握していないが、生活上の不安に関する相談は市で随時受付け、解決に向けて支援している。

**Q** 「身寄りのない高齢者」の第二種社会福祉事業は、令和10年6月までに行うことが定められているが、それまで市としてどのような対策と対応をはかっていくのか。今から準備を進め、来たるべき時に、必要な方々へサービスを提供しては。

**A** 市と社協による権利擁護センターがあるので、国からの具体的な内容が示された後に、今までより幅広く支援できると考える。




モデル事業におけるイメージ図

## 被災者の生活再建は



石井　仁

**Q** 震災対策は最大震度7の発生を想定したものになっているか。

**A** 最大震度7の発生を想定して、国・県・民間連携で避難所運営・受援体制を強化。備蓄は南海トラフ震度6強に対応している。

**Q** 道路・水道・下水道・公共施設の復旧と復興計画に基づく改良・改善にはいくら必要で、それは激甚災害指定を受ければ、その時の会計で対応できるか。

**A** 市が所有する土地を除く有形固定資産は、建設当時の取得価格（帳簿価格）で、総額は約2767億円（令和6年度末時点）である。

これらの資産が被災した際の被害予測と復旧費を算定することは困難である。

激甚災害に指定された場合、「原形復旧」を中心に復旧事業の国庫補助率がかさ上げされ、被災自治体の実質負担が0．8％と見込めることから、現在の財政状況であれば対応可能であると考える。

**Q** 被災者の生活再建は現在の公的支援でまかなえるか。

国の生活再建支援金への上乗せ、国・県の制度から外れる災害での見舞金の増額をしては。

**A** 公的支援のみでは生活再建には不十分な状況であるが、生活再建の費用は当人が備えるべきで、すでに自助努力で災害に備えている市民の理解は得られないと考える。




## 次回12月定例会

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 11/27 | 28 |
| | | | | | 本会議（開会） | |
| 29 | 30 | 12/1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | | | | 本会議（一般質問） | 本会議（一般質問） | |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | 本会議（一般質問・質疑・付託） | | 総務文教分科会・総務文教常任委員会 | 厚生分科会・厚生常任委員会 | 産業建設分科会・産業建設常任委員会 | |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| | | | 予算決算常任委員会 | | | |
| 20 | 21 | | | | | |
| | 本会議（閉会） | | | | | |

※午前9時30分開会予定です。なお、日程は変更することがあります。

## ご意見・ご感想をお聞かせください



紀の川市議会では、議会広報紙「未来へ」を年4回発行しています。議会を身近に感じられる広報紙となるよう、皆様の声をお聞かせください。今後の編集に活かしていきます。

**回答方法**

専用フォームから回答するか、感想などを記入し郵送、メールでご提出ください。

URL：https://logoform.jp/f/XMJ9t

専用フォーム

〒649-6492 紀の川市西大井338番地
紀の川市議会広報特別委員会あて
e-mail：k010200-001@city.kinokawa.lg.jp

## 議会のインターネット配信

本会議の録画映像をインターネットで配信しています。議会ホームページや、二次元コードからぜひご覧ください。

本会議の録画映像はこちらから

# 委員会活動報告



各委員会では、議案の審査だけでなく、委員会に付託された市民生活に深く関わることについて議会の閉会中も調査研究を行っています。
最近の活動状況についてお知らせします。

## 総務文教常任委員会

### ● 8月27日 所管事務調査を行いました。

#### 夏場における部活動のあり方について

近年の地球温暖化による異常気象により、夏場の部活動の際、熱中症とも考えられる事例が発生しました。総務文教常任委員会として情報収集などを行い、その後、議会として教育委員会に対して子どもたちが安全に部活動をできるような環境づくりと、授業と学校式典のみの空調設備（エアコン）の使用制限を臨機応変に使用できるよう申し入れを行ったことに対し回答および説明を受けました。

**【空調機設置の経緯】**

令和４年度、避難所機能の充実と熱中症対策を目的に中学校５校の体育館へ空調設備が設置されました。

空調の利用要件としては、避難所の運営と学校の授業および式典（※WBGT 指数 28℃を超えた場合）。

令和６年度、空調利用「要綱」の制定を行い、選挙の投開票および中学校体育連盟による公式大会の利用が追加されました。

**【回答および説明】**

学校判断としていた WBGT 指数を遵守の上、クーリングルームの確保や製氷機を設置し、また、屋内においては大型扇風機を活用します。さらに、屋外ではテントを利用するなどして、直ぐに休憩できる環境を整備し、すべての部活動（屋内・屋外）を対象に計画的に子どもたちがクールダウンできるように休憩を取らせるよう再度指導しています。

部活動での空調利用について、今年度については基本的に予算措置を行っていないため、現状で徹底していきます。

来年度については、空調利用を視野に予算要求を踏まえ、校長と協議をして方針を決めていきたいと考えています。



粉河中学校体育館

※ WBGT 指数（暑さ指数）
熱中症の危険度を判断するための指標です。
単純な気温でなく、気温・湿度・日射を組み合わせて算出します。

## 厚生常任委員会

### ● 8月4日 所管事務調査を行いました。

高齢者の支援の現状や困難事例の状況について説明を受けました。

# 意見書　を提出しました

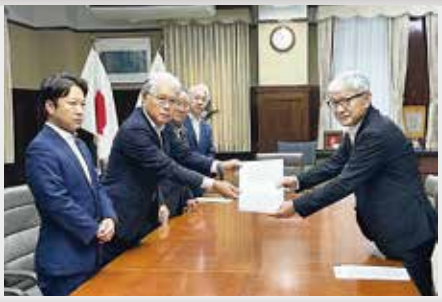
**「紀の川市神通地区における産業廃棄物安定型最終処分場の設置に関する意見書」**

（概要）
　神通地区で計画されている処分場について、自然環境への影響を懸念する声が上がっており計画に対する不安が示されている。こうした思いを受け止め、十分な調査・検証を行うとともに、関係自治体および住民に対し十分な協議と丁寧な説明を行い、地域住民の生活環境の保全を最優先とした慎重な対応に特段の措置を講じられるよう強く要望する。

（提出先）
　和歌山県知事

**【第３回定例会にて全会一致で可決】**

9月29日　和歌山県知事に意見書を提出
「重く受け止め厳正に審査します。」と宮﨑泉知事



追跡

ちょっとおしえて!

# あの質問、どうなったの？

## もしも閉じ込められたら

市役所庁舎などのエレベーターに、防災グッズが収納された防災チェアを設置しては。

**答弁**

簡易トイレや非常用飲料水などを備蓄でき、また、ふだんは腰かけ椅子や荷物置きとして使用できる防災チェアの設置は有効である。計画的に対応していく。

**その後**

## 即座に対応

エレベーター内に防災チェアが設置されました。



紀の川市議会だより
No.79
編集／発行
紀の川市議会
〒649-6492 和歌山県紀の川市西大井338番地
TEL 0736(77)2511
FAX 0736(77)0862
E-メール／k010200-001@city.kinokawa.lg.jp

賀茂神社



屋内あそび場トライアル







竜門コミセン夏休みうなぎイベント



赤沼田から

## 編集後記

霜月、日暮れの早さに確かな冬の足音を感じる今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。各地域に根ざした課題は多岐にわたります。私たちが暮らすまちの未来は、誰かに委ねるだけでなく、私たち一人ひとりが関心を持ち、共に育んでいくものだと実感する日々です。

子どもたちの笑顔を守るためにも、まずは地域を知り、市政に目を向けることが確かな第一歩ではないでしょうか。どの議員が地域のどんな声を受け止め、未来へ向けて議論を交わしているのか。

ぜひ一度議場へ足をお運びいただき、直接その熱気を感じていただければ幸いでございます。

本紙が日々の暮らしと議会をつなぐ架け橋となり、皆さまと共にまちのこれからを考えるきっかけになればと願っております。どうぞご自愛くださいませ。

（上田礼子）

紀の川市議会ホームページ
https://www.city.kinokawa.lg.jp/gikai/

紀の川市議会 検索

※携帯電話・スマートフォンなどのバーコードリーダーで読み取ると、議会ホームページにアクセスできます。